

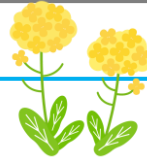
2026年  
2月

とちぎ福祉プラザ  
モデルルームの報告です



NPO法人とちぎノーマライゼーション研究会

来場者数 89名 視察 0件



【介護テクノロジー相談件数】 9件

相談内容 抜粋

- ①施設職員、お風呂場で転んでしまった際に知らせてくれる見守りセンサーはないか。
- ②通所リハビリスタッフ、一人で歩けない利用者がベッドから動き出して転んでしまうケースがあり、転倒前に何か知らせてくれるものがあれば知りたい。
- ③支援者、体を包んで持ち上げえるようなリフトではなく、移乗介助が簡単に楽になるものはないか。
- ④子供を抱えて入浴介助しているが、体も大きくなってきたので次の方法を考えている。どんなものがあるのか、また支援の制度についても知りたい。
- ⑤卒業式で車いすの生徒がステージに上がる方法はないか。

【一般相談件数】 12件

個別相談内容 抜粋

- ①最近歩いていると疲れてしまう。歩行器を利用することを考えているが移動の途中座れる椅子がついているものはあるか。
- ②座面が回ってひじ掛けが上がる入浴椅子を探している。
- ③ポータブルトイレに介助で移って排泄したい。日常生活用具給付の適応などを知りたい。
- ④股関節の術後右足変形もあり歩行が大変になってきた。そろそろ車の免許も返納しようかと考えている。買い物に行くのに歩行器を使うことも考えているのでどんなものがあるのか知りたい。
- ⑤腰痛のため便座からの立ちすわりが大変だった。今後も同じようになるかもしれないので便座からの立ち上がりが楽になるものを準備したい。
- ⑥車いすで使いやすい洗面台を探している。家族と共有できるものが良い。

期間限定の展示です!!  
「LOVOT (らぼっと) 」3/11まで ♡

認知症生活支援・認知症ケア支援機器

ノンバーバルコミュニケーション（言葉を使わないコミュニケーション）をとることができ、生きているかのような目でアイコンタクトをとることなどで、発話の増加や自然な笑顔を引き出し、一緒に過ごす方の心の安定や、認知機能低下の抑制にも期待ができます。



国際看護介護保育専門学校の皆さんが  
地域・在宅看護論実習で、福祉用具や  
介護テクノロジーについて学びました。



研修活動等報告

- 東京都介護施設職員集合研修（東京都福祉保健財団）  
「ヒヤリハット事例を交えたリスク管理の重要性と福祉用具を使った質の高いケア」
- シルバー大学（南校）・シルバー大学（中高校）「障害の理解」